

患者さんへのお願い

当科で両心室ペースメーカーを植え込む予定の、あるいは植え込まれた患者さんを対象に、全例登録による研究を施行致しますので、患者さんへお知らせとお願いをさせていただきます。

研究の概要

慢性心不全患者さんにおいて、心筋血流シンチ（心筋にとりこまれる薬剤を注射し、機械で検査をし、心臓の動きを解析します）によって心臓の収縮の様子を解析し、そのパターンと他の検査結果（心電図やエコーなど）との関連を調べる。また、心室再同期療法を行った患者さんにおいては、施行後の反応性との関連を調べる。

本研究では慢性心不全を患っておられる患者さんで、心筋血流シンチを施行したことがある患者さんを対象に行います。

本研究は研究機関の長の許可ならびに倫理審査委員会での審査を受けています。

研究機関の名称

労働者健康安全機構横浜労災病院

研究責任者の氏名

小和瀬晋弥

研究の目的・意義

多くの患者さんの病歴、基礎疾患、投薬状況や血液検査や心電図、心エコー検査、X線検査、血管造影、核医学検査などのデータから慢性心不全患者さんにおける心室の収縮パターンと検査結果との関連を見出します。また、現在、左室収縮能（EFと言います）が低下している患者さんにおいては心室再同期療法を行うことがありますが、効果がある人（レスポnder）と効果が乏しい人（ノンレスポnder）の最も大きな指標は心電図の指標であり、現時点では心電図指標とEFのみが施行の際の基準となっています。しかし約30%の人でノンレスポnderとなると言われています。

施行した際に良好に反応することと関連する因子を見出すことを目的とし、今後、より効果的に心不全治療を行えることにつながっていくものと考えます。

方法

患者さん自身に改めてご負担をお願いするものではありません。これまでの診療、あるいは今後の日常の通常診療で、行う検査結果や患者さんの疾患に関する情報(病歴など)を、診療録を元にご提供して頂きます。

今後、当科で全数登録を行い、新たな知見が得られるよう、解析していきます。

提供される情報については個人が特定されないよう、匿名で行います。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名

不整脈科 部長 小和瀬晋弥

ご不明な点がございましたら以下にご連絡ください。

担当者

横浜労災病院 循環器内科 小和瀬晋弥

電話 045-474-8111 (代表)